

月例報告	
学部	国際文化
学科	国際文化
国名	オランダ
留学先	ステンデン応用科学大学
報告月	2018年8月
内容	<p>1.学習状況の報告</p> <p><科目名:> 授業はまだ始まっていませんが、Semester1のModule1がHospitality Operation Environments (Finance and Law)、Module2がTourism Resourcesです。そのほかにDutch CourseとPROMO(ステンデンと法政の広報)を選択しました。先週1週間はオリエンテーションで、そのなかでステンデン大学特有の授業の行い方についての説明がありました。日本の大学の授業とは全く異なり、少人数のグループで一緒に問題の解決策をさがすPBL、またはケーススタディから学ぶCBLの方法で授業が行われるようです。自主学習も必要になってくるので、しっかり取り組みたいと思います。</p> <p><語学について> 他の留学生との会話の中で英語に困ることはあまりないです。SAでの経験も生かしているのか、いろんな学生とコミュニケーションが取れています。多くの学生が他国の学生と仲良くなりたことと英語力を伸ばしたいということと、お互いの文化やこれはどう英語で表現するのかなどお互い勉強合っています。しかし、オリエンテーションウィークの中で、トライアルとして他の交換留学生とPBLのグループワークをしたのですが、授業についていけるか不安があります。積極的に意見を言うことは留学前にGIS等の授業を取り慣れていたので、それ以前に周りの学生が何を言っているのか聞き取れないことが多々あり、わからない、とちゃんと伝えることができませんでした。みんながわかっている中もう一回いってほしいと言うことに躊躇ってしまいました。わからないままだとその後もどんどんわからなくなってしまう、というのは頭ではわかっているのですが、周りがテンポよく話を進めていると、難しいです。授業が始まったらちゃんとわからない時はわからないと言えるようにしたいです。</p> <p>2.生活状況の報告</p> <p>【気候に関して】 オランダの夏は日本と全く異なり、とても涼しいです。むしろ冬かと思うくらい寒いときもあります。1日の中で晴れたり、曇ったり、風が強く吹いたり、ひどい日は突然大雨が降ったこともありました。10月、11月が季節の変わり目で急激に気温が下がるそうなので、体調管理には気をつけたいです。</p> <p>【友達について】 オランダに到着して次の日に昨年の派遣生大野さんのお友達と会うことができました。一緒に朝ご飯を食べに行き、大野さんが預けていたキッチン用具や食器等を受け取ることができました。また、その後もケータイの契約や自転車探など手伝ってくれ、他のオランダ人との餃子パーティにも招待してくれました。日本語勉強している子なので、日本語と英語両方を使って話しながら、言葉を教え合ったり、日本文化や日本語についてたくさん話したりしました。その子も含め、出会ったオランダ人はみなとてもフレンドリーで、餃子パーティでは日本から来た見知らぬ私にも気さくに話しかけてくれ、とても楽しむことができました。また英語も母国語かのように流暢で、私がいるときはずっと英語で会話をしてくれ、学校が始まる前に英語に慣れておけたこと、そして私自身も彼らと英語でコミュニケーションがとれたことで、学校のオリエンテーションに向けて自信が持てました。 初めて学校に行く日は緊張もありましたが、勇気を出しているような学生に積極的に話しかけたことで、友達を作ることができました。本当に様々な国から学生が来ていて、クロアチアやトルコ、ブルガリア、ハンガリーなど初めて会う国の人ばかりです。クロアチアの子とはModule1の授業が同じということもあり、よく一緒に行動しています。先日も一緒に銀行開設に行ったり、市場に買い物に行ったり、他のスペインからの留学生も一緒に自転車で少し遠くのカフェまで足を運んでみました。家に鍵を置いたままドアを開けてしまい、次の日の朝Studentstayのオフィスが開くまで締め出されてしまった時も家に泊めてくれ、私が授業についていけるか不安と話した時も、すぐに慣れるよ、大丈夫と励ましてくれました。優しい友達ができて良かったです。</p> <p>【学校行事について】 ESNという学校のグループが留学生に向けて様々なイベントを開催しているのですが、日本の学校主催イベントではあり得ないPub Crawlなどもありました。初めてパブ(クラブ?)に行ったのですが、音楽の大きさやその空気に圧倒され、これがヨーロッパなどでは日常なのか、と日本との文化の違いに改めて驚きました。</p> <p>【日常生活に関して】 初めての一人暮らしで、自分で料理や洗濯、掃除すべてをすることの大変さを痛感しています。外食は高いので、よく自分で作っているのですが、スーパーなどの表記がすべてオランダ語で、携帯でインターネットが使えるまでスーパーでの買い物にはとても苦労しました。(今でも買い物にはかなり時間がかかりますが笑)また、オランダ人は洗濯物をかなり分類して洗うようで、私も日本ではいろいろ分けて洗濯していましたが、もっと複雑です。色物用と白い服用で洗剤が分かれていたり、もっと複雑なのが洗濯機で、温度を設定したり、服の素材を設定したりと未だに使いこなせません。 Zwolleでの生体認証登録は到着して次の日に、銀行開設と住民登録はオリエンテーションウィークで終わらせました。住民登録をしてBSNというマイナンバーのようなものをもらおうと銀行を開設することができます。オランダでの買い物(スーパーや街中のお店)では現金またはオランダの銀行のデビットカードでしか支払いできないところが多く、Visa depositのRefundのためもありますが、銀行開設が必須です。</p> <p>3.その他(今、感じていること～心境の変化やご自分の成長等) SAのときと比べると自分の英語力やコミュニケーション能力は伸びたことを実感しています。また、海外の学生たちは初めから自分の意見をはっきり言うことに驚いています。例えば、「これは嫌い」や「私はそう思わない」など、日本では初めてあった人やまだそこまで親しくない人と話すとき、あまりこういことを言う人はいないので驚きました。しかし、反面自分ももっと正直にこうしたいと言っているのか思い、正直に伝えるようにしています。新しい環境の中で、新しい友達に出会い、新しいことを経験したり、知ったり、新しいことばかりですが、とても楽しいです。しかし、SAの時と比べれば、たしかに英語は伸びたと実感していますが、授業についていけるかがとにかく心配です...。</p>